

A close-up photograph of a metal coffee grinder, showing the hopper and the grinding mechanism. The lighting is warm and focused on the metallic surfaces.

オンライン・日本の ePUBフォーマット を支える制作システム

株式会社トップスタジオ
武藤 健志 @kmuto

2012年

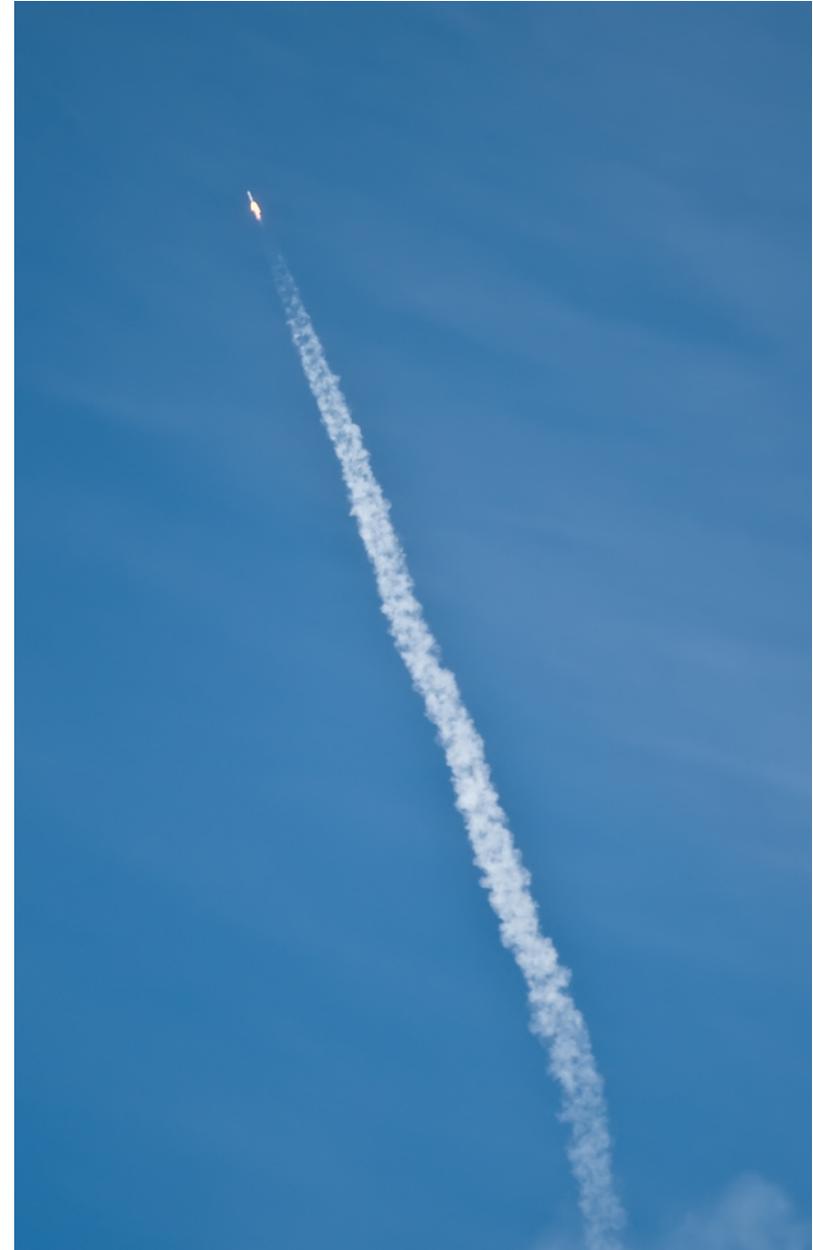
1月12日

オライリー・ジャパンと
トットスタジオの
共同制作による、

「ePUBフォーマットによる
電子書籍ラインナップ」
の開始を発表

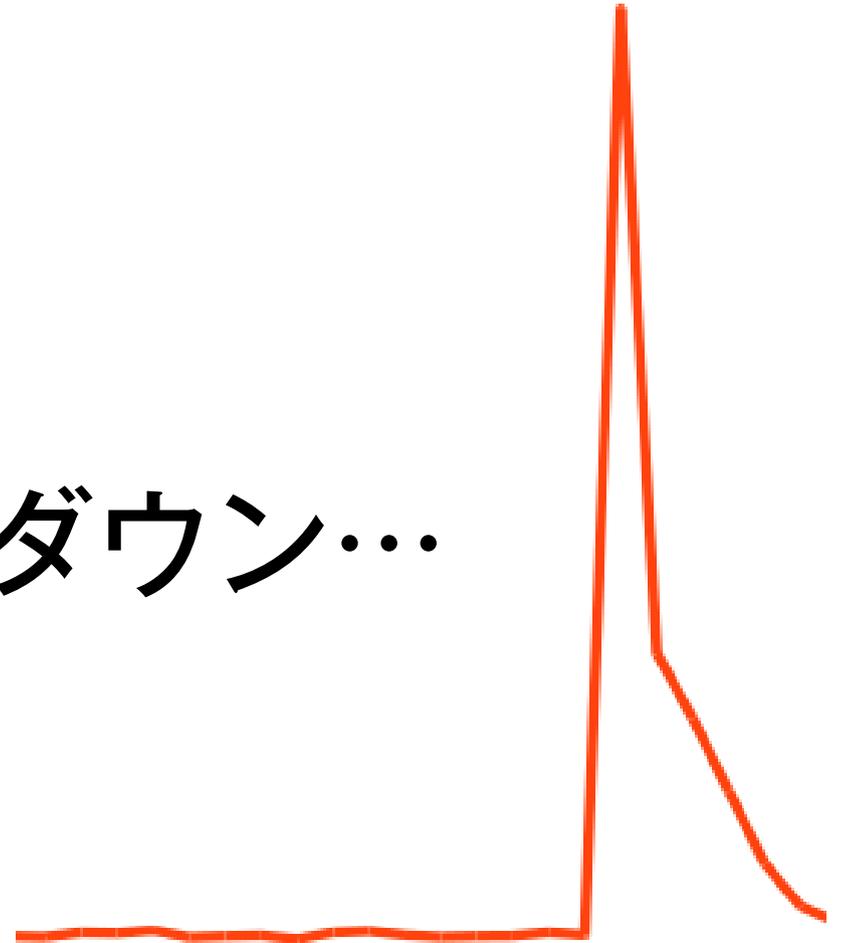
リリースのインパクト

- IT系メディア、
Twitterなどで
拡散
- 好意のご評価を
いただけている
模様



リリースのインパクト

プレスリリース後、
弊社Webサーバがダウン...





商品コンセプト

「**薄い本**」
を毎月
コンスタント
にご提供

O'Reillyの豊富なジャンル



Building Android Applications with ActionScript

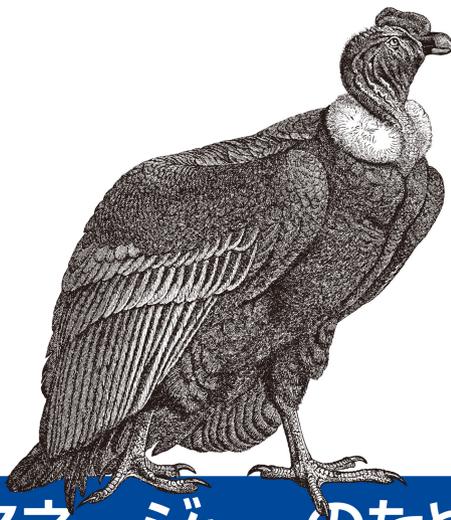


Flex 4.5による
Android
アプリケーション開発

O'REILLY®
オライリー・ジャパン

Rich Tretola 著
永井 勝則 訳

Big Picture of the Who, What, and Where of Virtualization



マネージャーのための
仮想化ガイド

要素技術の概要と適用例を知る

O'REILLY®
オライリー・ジャパン

Dan Kusnetzky 著
勝野 久美子 訳
株式会社トップスタジオ

Sharding, Cluster Setup, and Administration

スケーリング
MongoDB



O'REILLY®
オライリー・ジャパン

Kristina Chodorow 著
夏目 大 訳
株式会社トップスタジオ

3冊を先行リリース

主ターゲットは iPad + iBooks

はじめに

本書は、HTMLの<canvas>タグにグラフィックを描くためのJavaScript APIについて記述しています。読者にはプログラミング言語JavaScriptについての知識があり、WebページでJavaScriptを使用することについて、少なくとも基本を知っていることを前提としています。1章はチュートリアルで、Canvasの全機能を説明し、例を用いて実演しています。2章はCanvasに関連するクラス、メソッド、プロパティのそれぞれについてのリファレンスです。

本書はこれよりかなり厚い本『JavaScript: The Definitive Guide, 6th Edition』からの抄録です（邦訳は、第5版が『JavaScript 第5版』、『JavaScriptクイックリファレンス』の2冊に分けられ、オライリー・ジャパンから刊行されています）。<canvas>タグはHTML5の刺激的な機能なので、それ自体のタイムリーで簡潔な本があってもよいだろう、と出版社と著者は考えたのです。Canvas APIは比較的小さいので、本書のような本で完全に記述できます。

Raffaele Cecco氏には、本書とそのサンプルコードを注意深くレビューしてくれたことに感謝します。また、担当編集者のMike Loukides氏には、このプロジェクトに注力してくれたことに感謝します。編集者のSimon St. Laurent氏には、「Definitive Guide」の題材を「Pocket Referenc」の形式に変える仕事をいただき感謝します。

本書内のサンプルコードは、本書のWebページよりダウンロードできます。Webページには、本書出版後に何らかの誤りが見つかった場合に正誤表も掲載されます。

<http://oreilly.com/catalog/0636920016045/>

<http://www.oreilly.co.jp/books/9784873115252>

通常、読者は本書内のサンプルコードを、プログラムやドキュメントに使用してかまいません。コードの大部分を転載する場合を除き、著者や出版社に許可を求める必要はありません。「『HTML5 Canvasデスクトップリファレンス』David Flanagan著（オライリー・ジャパン）Copyright 2011 David Flanagan, 978-4-87311-525-2より」のように出典を明記していただければ感謝しますが、必須ではありません。サンプルコードを使用するにあたり、公正な使用の範囲や、上記で許可している範囲を超えると考えられ

以降も続々発刊！

Make Sure IPv6 Doesn't Break Your Applications



IPv6
アプリケーション
適応ガイド

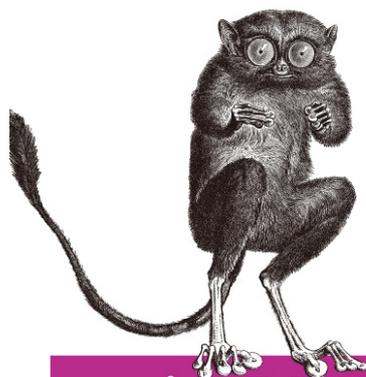
IPv6へ対応するためのチェックポイント

O'REILLY®
オライリージャパン

Dan York 著
山田 修司 訳
株式会社 トップスタジオ

Bringing Location to Web Applications

Support for Every Text Editing Task



vi & Vim

デスクトップリファレンス

O'REILLY®
オライリージャパン

Arnold Robbins 著
山口 清隆 訳
株式会社 トップスタジオ

Develop Mobile Applications by AIR technology

Scripted Graphics for HTML5



HTML5
Canvas

デスクトップリファレンス

O'REILLY®
オライリージャパン

David Flanagan 著
小沢 秀行 訳
株式会社 トップスタジオ

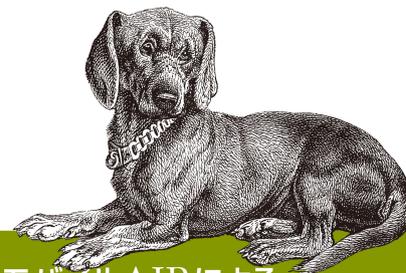


HTML5
ジオロケーション

Webアプリケーションに地理情報をもたらす

O'REILLY®
オライリージャパン

Anthony T. Holdener III 著
福嶋 雅子 訳
株式会社 トップスタジオ



モバイルAIRによる
クロスプラットフォーム
アプリケーション開発

Android/iPhoneアプリケーションの作成と開発テクニック

O'REILLY®
オライリージャパン

永井 勝則 著

自己紹介

武藤 健志

(MUTO Kenshi)



- 株式会社トップスタジオ 執行役員
- Debian Projectなどでの
フリーソフトウェア活動

ソーシャルネットワーク

- **Twitter:** @kmuto
- **Facebook:** kenshi.muto
- **Google+:** Kenshi Muto

今日のお話

The screenshot shows a web browser window displaying a blog post on the O'Reilly Japan website. The browser's address bar shows the URL: www.oreilly.co.jp/community/blog/2012/01/free-opensource-softwares-support-orj-epub-titles.html. The page features the O'Reilly logo and a navigation menu with links for Home, Community, Books, Ebook, Safari Books Online, Order, and About. A sidebar on the left contains a 'Book' section with various categories like Perl, Java, and XML, and a 'Series' section with links like 'The Missing Manual' and 'Make'. The main content area is titled 'Contributors Post' and 'オライリー・ジャパンのePUBフォーマットを支える制作システム' (Production System Supporting ePUB Format at O'Reilly Japan). The author is identified as Kenshi Muto, dated January 31, 2012. The text discusses the challenges of ePUB production and the development of a system to streamline the process. A search bar and a '最近の記事' (Recent Articles) section are visible on the right side of the page.

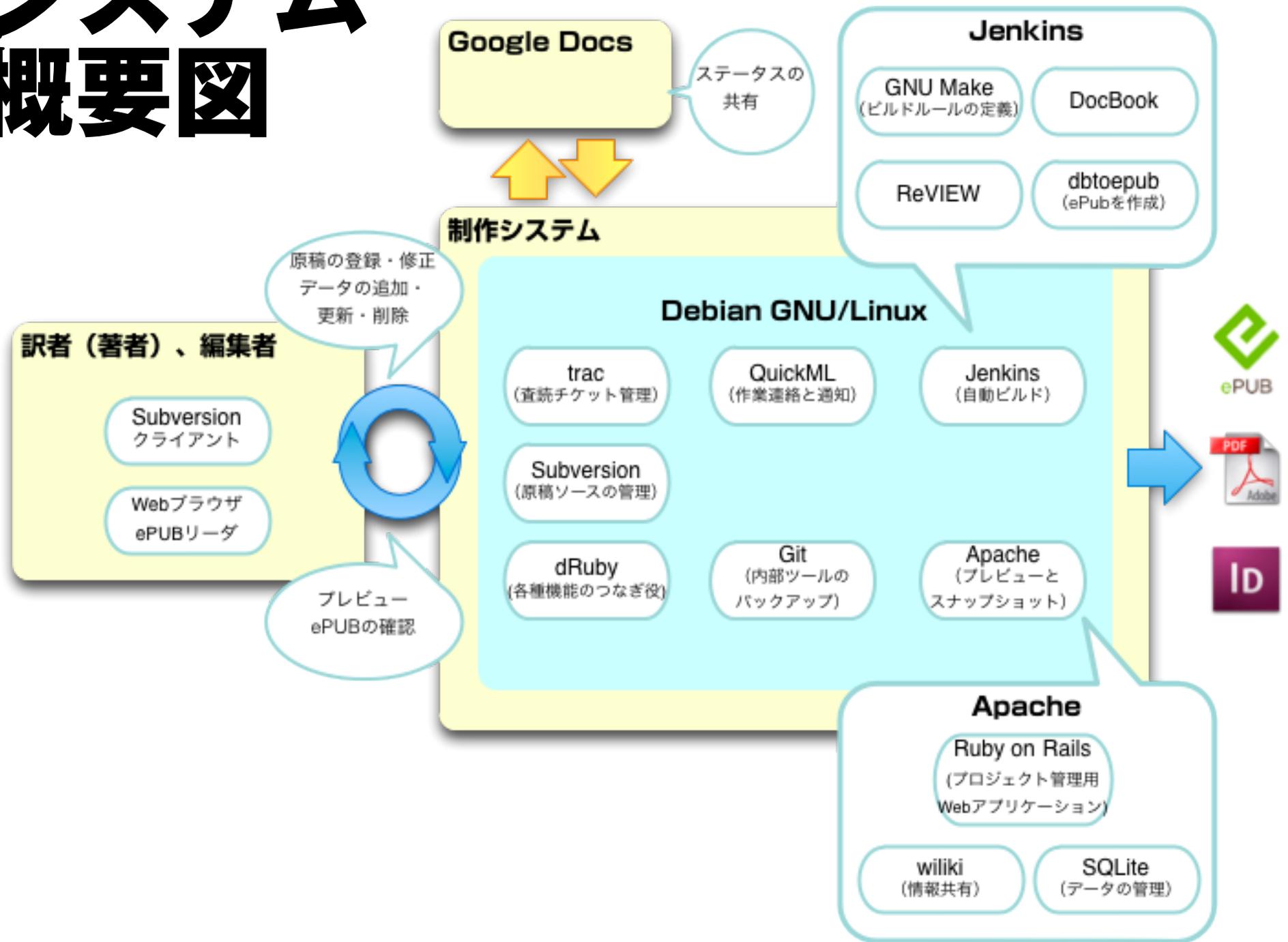
「オライリー・ジャパンのePUBフォーマットを支える制作システム」

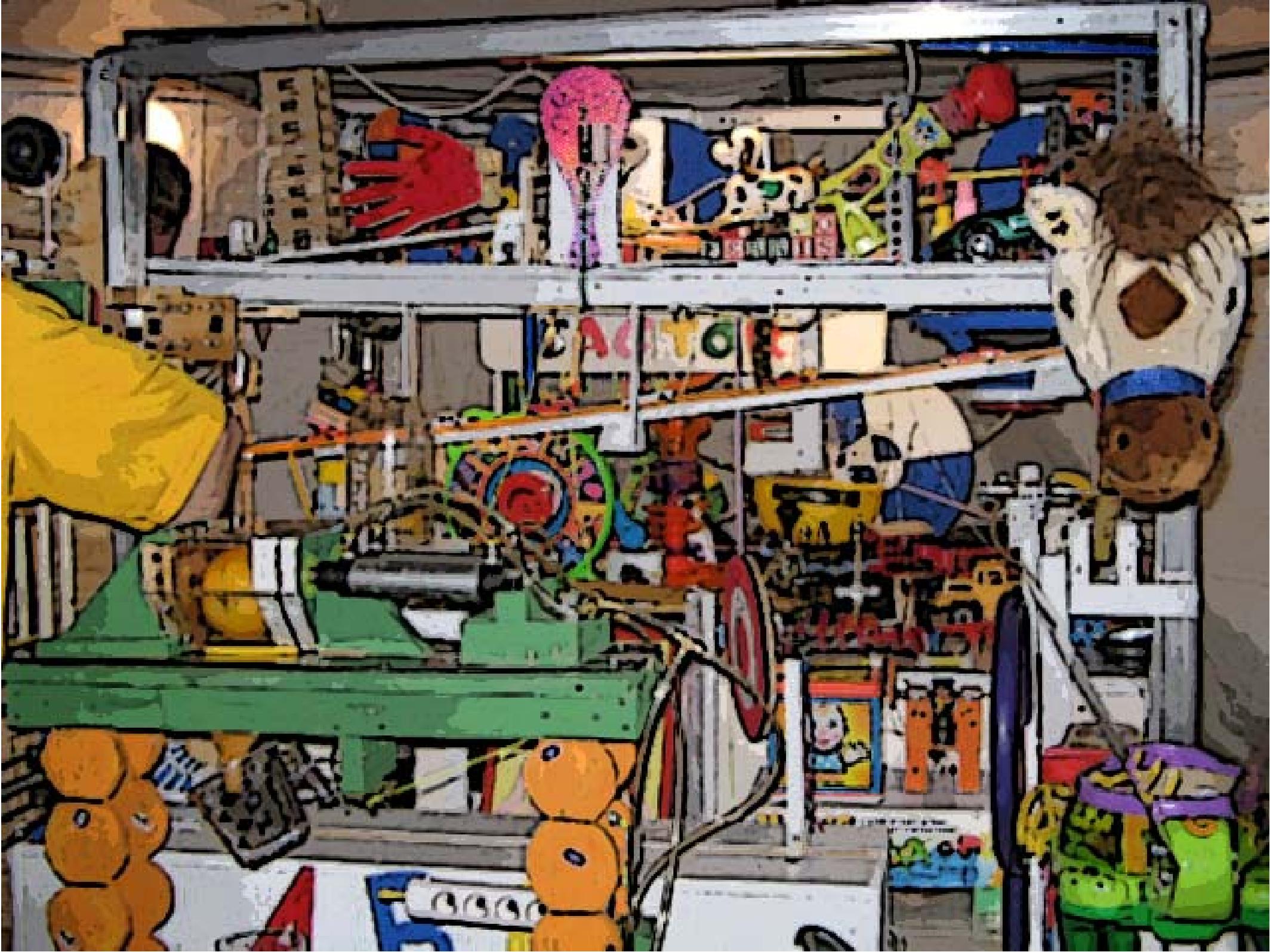
<http://www.oreilly.co.jp/community/blog/2012/01/free-opensource-softwares-support-orj-epub-titles.html>

oreilly epub



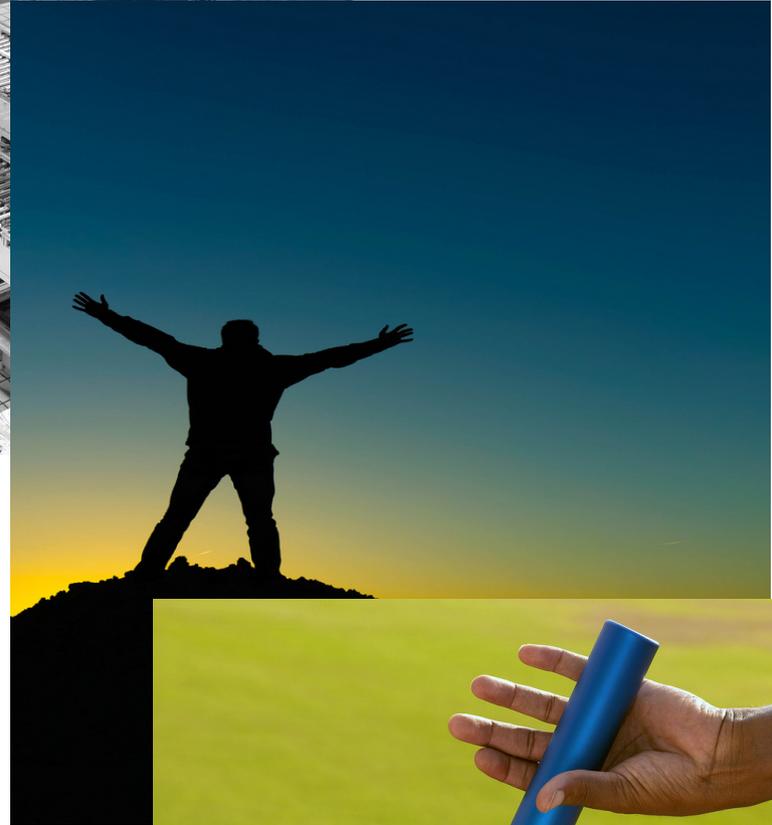
システム概要図





設計コンセプト

- 自動
- 自由
- 自立



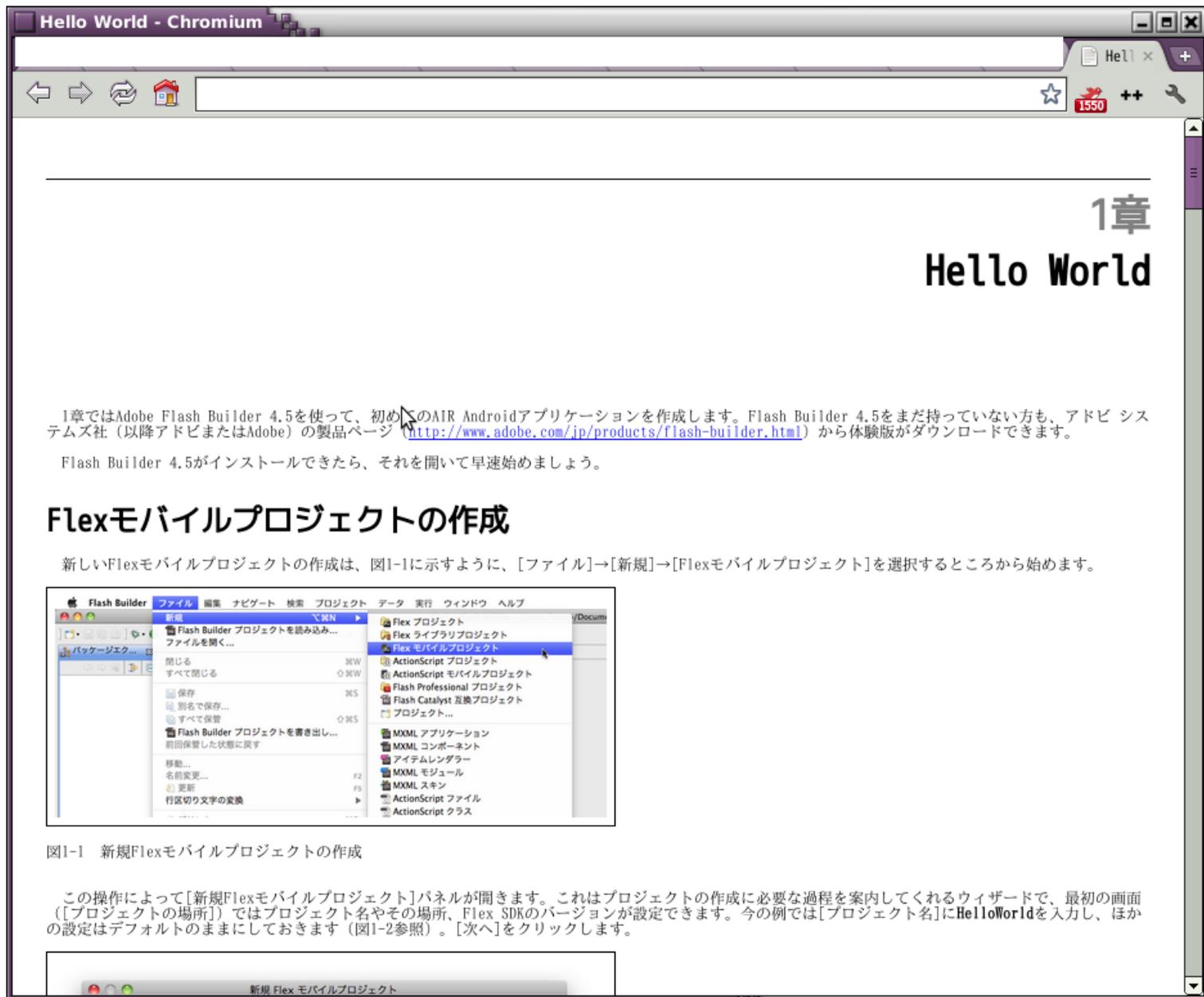
MONEY AV

SAVINGS ST



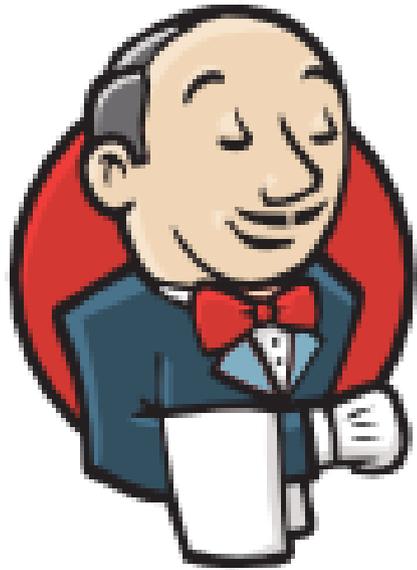
自動

- データはバージョン管理サーバ (Subversion) に格納
- 原稿の追加/変更のたびにHTMLとePUBファイルが自動で生成される



プレビュー

厳格な執事



Jenkins

厳格な執事

- バージョン管理下ファイルの**更新のたびに**、定義したルールを実行
(HTMLとePUBの生成)
- ルール実行中にエラーを検出すると、**即座に**作業メモリングリストに**失敗**した旨を通知
- 修正されたら**正常**に戻った旨を通知

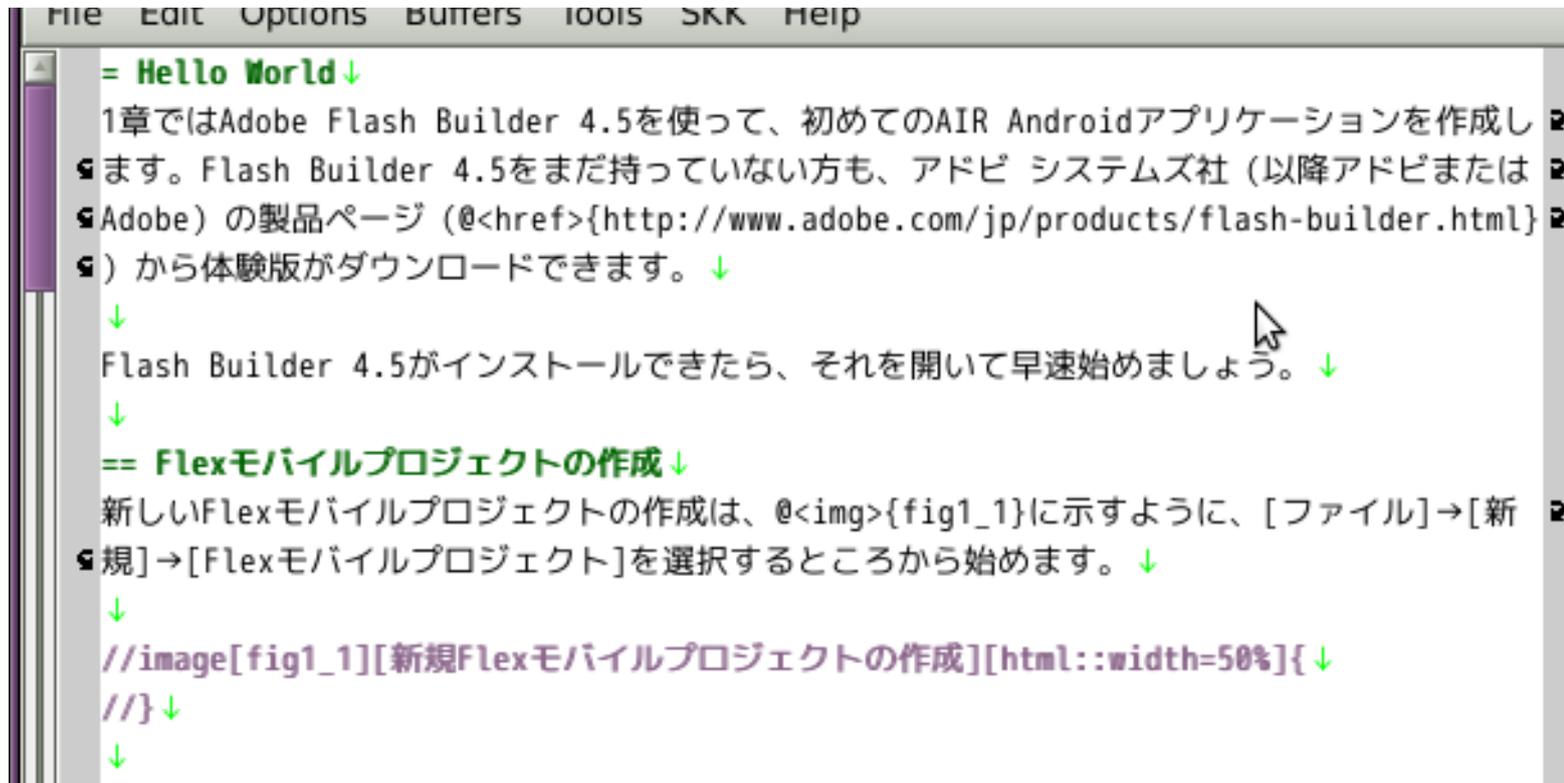
自由

- 「制作に関わる人々が、システムに合わせる」内容を**最小限**に
- 特定ベンダに依存せず、**主導権**を持ち続ける



ReVIEW

- オープンソースのマークアップ記法とシステム
- 「[kmuto review](#)」で検索
- HTML/ePUB、LaTeX、InDesign XML
- 簡易



The screenshot shows a text editor window with a menu bar (File, Edit, Options, Buffers, Tools, SKK, Help) and a document containing Japanese text and code. The text is formatted with green arrows and underlines. The code snippets are in purple and green.

```
File Edit Options Buffers Tools SKK Help
= Hello World↓
1章ではAdobe Flash Builder 4.5を使って、初めてのAIR Androidアプリケーションを作成し
ます。Flash Builder 4.5をまだ持っていない方も、アドビ システムズ社（以降アドビまたは
Adobe）の製品ページ（@<href>{http://www.adobe.com/jp/products/flash-builder.html}
）から体験版がダウンロードできます。 ↓
↓
Flash Builder 4.5がインストールできたら、それを開いて早速始めましょう。 ↓
↓
== Flexモバイルプロジェクトの作成↓
新しいFlexモバイルプロジェクトの作成は、@<img>{fig1_1}に示すように、[ファイル]→[新
規]→[Flexモバイルプロジェクト]を選択するところから始めます。 ↓
↓
//image[fig1_1][新規Flexモバイルプロジェクトの作成][html::width=50%]{ ↓
//} ↓
↓
```

Analyzing Data from Facebook, Twitter, LinkedIn,
and Other Social Media Sites



入門 ソーシャルデータ

データマイニング、分析、可視化のテクニック

O'REILLY®
オライリー・ジャパン

Matthew A. Russell 著
奥野 陽、佐藤 敏紀、瀬戸口 光宏 監訳
原川 浩一、水野 貴明
長尾 高弘 訳

Creating Great Software with C++ and Qt 4



実践

Qt4 プログラミング

O'REILLY®
オライリー・ジャパン

Mark Summerfield 著
杉田 研治 訳
山田 亮介 訳

DocBook

- SGML/XMLの構造化ドキュメント形式
- 膨大な要素数（オーバースペック）
- 米O'Reillyの標準データ形式
- 紙派の編集者には
いたく不評

```
File Edit Options Buffers Tools XML Help
<?xml version="1.0"?>
<!DOCTYPE chapter PUBLIC "-//OASIS//DTD DocBook XML V4.5//EN" "http://www.oasis-
open.org/docbook/xml/4.5/docbookx.dtd">
<chapter id="userinterface">
<title>ユーザインタフェースの変更</title>
<para>アプリケーション開発者としてIPv6に関して問題と感じる最も大きな要素はなんだと思
いますか。たしかに、Wiresharkなどのネットワークアプリケーションを取り扱っている場合、
ソケットレベルまで下がるとその変化に遭遇するでしょう。しかし、その他の大多数のアプリケ
ーションは、ネットワーク層で他のアプリケーションと対話する必要があるだけです。この場合
どの部分が最も大きな変更になるのでしょうか。</para><para>それは<emphsis role="bold
">ユーザインタフェース</emphsis>の変更です。</para><para>「えっ」と自問自答するかも
しれませんが、少し考えてみてください。アプリケーションの [プリファレンス] や [オプショ
ン] ウィンドウを見て以下のような画面を見ることはよくありませんか。</para> <informalf
igure float="none"><mediaobject id="I_mediaobject1_d1e393"><imageobject role="pr
int">
<imagedata fileref="figs/print/maip_01in01.pdf" format="PDF"/>
```

変換部



- **ReVIEW→ePUB**

- ReVIEW標準のHTML変換+特製のフィルタ

- **DocBook→ePUB**

- オープンソースのdbtoepubを派生改良
- スタイルシート、カバーや奥付、広告挿入の機能は**共通化**

自立

- ベンダ依存の
排除
- 開発者依存の
低減
- ドキュメント化
推進で引き継ぎ
可能に





課題

- ePUBの見栄え
- PDF?
- 作業コストと品質

まとめ

- 自動
- 自由
- 自立



Copyright

- All contents except below pictures are copyrighted by Kenshi Muto, 2012
- Book cover images, O'Reilly, O'Reilly Japan
- Office Stapler. <http://www.flickr.com/photos/pjstoneson/135406518/>, pjstoneson (CC BY 2.0)
- LAUNCH! <http://www.flickr.com/photos/puliarfanita/4023248056/>, Antia Ritenour (CC BY 2.0)
- Secret photo of Mandarake. <http://www.flickr.com/photos/eliazar/3037733332/>, Eliazar Parra Cardenas (CC BY 2.0)
- máquina rube goldberg. http://www.flickr.com/photos/medea_material/1692344189/, medea_material (CC BY 2.0)
- Money and savings. <http://www.flickr.com/photos/68751915@N05/6870882811/>, 401K (CC BY-SA 2.0)
- Jenkins logo, <http://wiki.jenkins-ci.org/display/JENKINS/Logo>, Jenkins project (CC BY-SA 2.0)
- Beat it. http://www.flickr.com/photos/snarky_momma/3669342889/, snarky_momma (CC BY 2.0)
- Monk's Bowl Welder. http://www.flickr.com/photos/tom_ruaat/5161504392/in/photostream/, Mark Fischer (CC BY-SA 2.0)
- Chinese Production Continues. <http://www.flickr.com/photos/26087974@N05/6644022737/in/photostream/>, Cory M. Grenier (CC BY-SA 2.0)
- freedom is all you need. <http://www.flickr.com/photos/timypenburg/5605056611/>, tim geers (CC BY-SA 2.0)
- BXP135677. <http://www.flickr.com/photos/53370644@N06/4976497160/>, tableatny (CC BY 2.0)
- Felek. <http://www.flickr.com/photos/j-pocztarski/2661556794/>, Jaroslaw Poczarski (CC BY 2.0)